

虎の尾を踏む男達 (1945)

メディア 映画
ジャンル 時代劇 ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 59分
初公開日 1952/04/24
公開情報 東宝

【解説】

能の『安宅』を歌舞伎にアレンジした『勸進帳』を基に巨匠・黒澤明監督が豪華配役陣で映画化した傑作。終戦直後に完成しながら検閲の関係で永らく未公開となり、1952年ようやく劇場公開された。兄の将軍源頼朝に追われる身となった義経は、山伏姿に変装して弁慶らと共に唯一の理解者、奥州の藤原秀衡のもとへ向かう。が、途中の安宅（あたか）の関所では関守・富樫左衛門が山伏姿に身をやつした義経一行を待ち構えていたのだった。そのことを麓の村で雇ったおしゃべりな強力（ごうりき）から知らされた一行は、弁慶の計略で義経を強力姿にすることで穩便に関所越えを目指すのだったが……。大河内伝次郎演じる威風堂々の弁慶と軽佻浮薄なエノケン強力の対比の妙。息詰まる関所での問答とその後の晴れやかでいて物哀しいエピローグ。監督黒澤明の緩急自在の演出が堪能できるなんとも中身の濃い中編。

【クレジット】

監督	黒澤明	Akira Kurosawa
製作	伊藤基彦	
脚本	黒澤明	Akira Kurosawa
撮影	伊藤武夫	
美術	久保一雄	
編集	後藤敏男	
音楽	服部正	
出演	大河内伝次郎	弁慶
	藤田進	富樫
	榎本健一	強力
	森雅之	亀井
	志村喬	片岡
	河野秋武	伊勢
	小杉義男	駿河
	横尾泥海男	常陸坊
	仁科周芳	義経
	久松保夫	梶原の使者
	清川荘司	富樫の使者